

## 「小倉百人一首の歌で問いを立ててみよう」

【1】「新国語総合ガイド」の一〇〇～一一三ページに「小倉百人一首」全ての「歌意」や「ミニ鑑賞」が「もっともらしく」書いてあるので、その「歌意」「ミニ鑑賞」から「なぜ?」「本当に?」「それは違うんじゃない?」と思うものを選んでみよう。とりあえず、今回は次の十首の中から一首選ぶ。選んだ歌が今回の「キーワード」。

- ① 2 春すぎて夏来にけらし白妙の衣ほすてふ天の香具山
- ② 4 田子の浦にうちいでてみれば白妙の富士の高嶺に雪はふりつつ
- ③ 8 我が庵は都のたつみしかぞすむ世をうち山と人はいふなり
- ④ 9 花の色はうつりにけりないたづらにわが身世にふるながめせしまに
- ⑤ 35 人はいさ心も知らずふるさは花ぞ昔の香ににほひける
- ⑥ 68 心にもあらでうき世にながらへば恋しかるべき夜半の月かな
- ⑦ 74 憂かりける人を初瀬の山おろしよはげしかれとは祈らぬものを
- ⑧ 77 瀬をはやみ岩にせかるる滝川のわれても末にあはむとぞ思ふ
- ⑨ 78 淡路島かよふ千鳥の鳴く声に幾夜寝ざめぬ須磨の関守
- ⑩ 93 世の中はつねにもがもな渚こぐあまの小舟の綱手かなしも

\* 和歌の修辞法については、「新国語総合ガイド」の九六～九八ページも参考になる。

【2】その選んだ歌一首で具体的なテーマ設定・仮説設定を行う。

- \* 「学問的な問い」（一般的で検証可能な問い）に基づいたテーマ設定をめざす。
- \* 「調べ学習」ではない。Wikiや●●質問箱などに答えが書いてあるものではない。

【3】収集した資料に基づいて、仮説（または自分の見解）の論証を行う。

- \* より説得力のあるものにするため、さらに資料収集、論証を行う。

【4】① 発表資料を作成し、四人一班で互いの発表資料を読み、コメントする。

- ② 次にその班を代表して発表者を選ぶ。
- ③ 発表する（一人3分+質疑応答2分）

《例》 天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山にいでし月かも

この歌は、阿倍仲麻呂が「異国で見る月に催された深い望郷の感慨を歌う。中国唐での35年間の留学生活の送別の宴で詠んだもの」と「ミニ鑑賞」に書いてあるが、遣唐使として行ったまま帰国できなかった仲麻呂の歌が、どうして日本にあるのだろうか。

【仮説】 この歌は仲麻呂の歌ではない。

仮説を証明するために、

- ① この歌が詠まれたエピソード、いつ、どこで、誰が持ち帰ったなどが書かれた史料を探す。  
→なければ、贋作である可能性が高い。
- ② この歌とよく似た歌がないかどうか探す。  
→それより前の時代があれば、盗作の可能性が高い。